

第26回若手校友情報交換会を開催

——— 東京支部

去る7月5日（金）に東京支部（堺精一支部長）では、東京丸の内の関西大学東京センターで若手校友情報交換会を開催した。

今回の情報交換会では、大阪から関西大学校友会副会長の田中義昭様を講師にお招きし、「母校変遷」と題して、関西大学の創設時からの生い立ちについてお話を頂いた。当日は、3名の初参加者を含め、16名での開催となった。

関西大学は、明治19（1886）年11月4日に「関西法律学校」として開校しているが、その当時は、法律学校が東京一極に集中しており、児島惟謙（大阪控訴委員長）ほかの現職の司法官が関西での法律教育の必要性を感じて設立したことが紹介された。当時は入学の案内が新聞の広告で行われていたこと、立身出世を夢来た多くの入学希望者がいたこと、最初はお寺を借りて授業を行っていたことなどを、スライドや貴重な資料を提示しながら面白くお話頂いた。また、一期生は約400人いたものの、卒業できたのはたったの17名と、当時の学問の厳しさも伺い知ることが出来た。

関西法律学校は、その後何度かの移転を経て、大正11（1922）年に現在の千里山の地に学舎を移転し、大学の認可を得ている。2022年には、それから丁度100年を迎えることを知り、皆で千里山の歴史を改めて感じた。わざわざ大阪からお出でいただき貴重なお話を頂いた田中副会長に感謝します。

その後の懇親会では、幅広い年代の校友が集い、交流を深めることが出来た。

次回は、東京海洋大学准教授の大石様（平14総合情報卒）を講師にお招きし、「海の価値をお金で測る」と題して10月2日（水）に開催予定である。多くの校友に参加して頂きたい。

（常任監事：村田樹一、連絡先：090-4712-7137、長坂剛人、連絡先：090-5138-5361）

第26回若手校友情報交換会 写真



①情報交換会、講師の田中副会長（東京センター）



②情報交換会後の懇親会（沖縄料理ニーゴ）